令和６年度　学力向上プラン

壱岐市立石田中学校

学校教育目標

ゆたかな心を持ち、
主体的で創造的に活動する
たくましい生徒の育成

研 究 主 題

子どもが自ら考え、自ら判断し、
自ら表現する力を伸ばす
教育活動の実践

副 主 題

様々な場面で主体的に活動する
生徒の育成を目指して

検　証

プロジェクト部会
- ①授業研究部
- ②連携推進部
- ③学習支援部

こころの教育

健康・体育

学力向上・改善のための具体策

＜**授業づくり**＞
- ○１単位時間の**目標を絞り込んだ授業**を展開する。
- ○**「ねりあげる過程」**を中心に表現力を身につけさせる指導を目指し、その手立てを研究する。
- ○課題解決的な学習を通じ、思考力、判断力、表現力の向上を図る。場の設定だけではなく、**「考える」、「判断する」、「表現する」ための手立て**も随時指導する。
- ○**ＴＴ指導、少人数指導**によりきめ細かな指導を展開する。
- ○タブレット端末を活用した授業提供および活用方法の研修を実施する。
- ○特別支援教育の理念を生かし、**授業のＵＤ化**や**通級指導の研究**を進め、生徒の多様な学びを支える。
- ○**学習三原則・生活三原則・環境三原則**に取り組む。
- ○教科の特性に応じた**ノートの書き方、使い方**を指導する。
- ○**『第五版』**にある**授業分析シート**を用いた授業研究を実施し、教科の壁を越えた校内研修の充実を図る。

＜**基礎基本の定着（授業以外）**＞
- ○**予習・復習を含んだ各教科の毎時間の宿題**、自主学習のバランスを考慮する。（演習プリントや補助教材、**ミライシード**などの活用を含めた家庭学習内容の工夫）
- ○定期テストや実力テストにおいて**記述式問題を出題し、無回答率を調べ、**表現力をつける指導に生かす。
- ○必要に応じて**補充学習**を実施する。
- ○表現力・読解力を身に付けさせるために**読解トレーニングの時間**を設定する。また、**朝読書の充実**を図る。
- ○各種検定試験を実施し、受検の機会をつくる（推奨する）。

＜**その他**＞
- ○起床時間・家庭での学習開始時間・就寝時間を決めさせ（**三点固定**）、スケジュールの自己管理や主体的な家庭学習につなげる（**自らの学びの調整**）。
- ○生活アンケートを活用した教育相談の実施。
- ○生徒会活動やボランティア活動、部活動を通じて、思いやりの心や礼儀、忍耐力を育成する。
- ○**メディアコントロールデー**実施（町内３小中学校連携）。
- ○ＳＤＧｓへの取組（１学年　総合的な学習の時間）
- ○キャリアパスポートの系統的な活用

「長崎県学力調査」の結果や「よりよい学校生活を送るための生徒自己評価」から（昨年度分）

［長崎県学力調査より］
- ○**国語**：「話すこと・聞くこと」に対し、「書くこと」、「読むこと」の数値が低い。文章を読む力が弱く、複数の資料を活用して答える問題でも弱さがみられる。国語科に限らず他教科でも、グラフを用いたり、複数のテキストから読み取ったりする活動が必要である。三角ロジックを意識し、根拠と意見を結びつけながら自身の考えを書かせたり、発言させたりしていく。
- ○**数学**：数学的な考え方はできているが、数学用語が使われていないため、正答率が低くなっている。文章問題ではたくさんの情報があり、問われているところまでたどり着けない生徒が多い。数学用語の定着を図るためにも、説明を求める問題において出題の仕方を工夫していく。
- ○**英語**：全体的に数値が低く、特に「書くこと」の数値が低い。問題に適した文法を選ぶことが難しく、文法間違いが目立つ。長文を書く訓練ができておらず、書くことを諦める生徒もいる。学校だけでなく家庭でも英語に触れる取組を仕組んでいく。【英語は令和６年度分】

［よりよい学校生活を送るための生徒自己評価より］
- ○基本的な生活習慣の定着（三点固定）、メディアとの関わり方の啓発、家庭学習時間の質的・量的な改善を図る。そのために、具体的な数値目標を設定し、取組を進めていく。
- ○学習面で「進んで活動し発表できたか」の項目については、依然として本校の課題の１つである。学校生活全体の中で、子どもたちが主体的に活動できる場を仕組んで、自分を表現できるよう一層の改善を図る。